

会 議 録

会 議 の 名 称	中央小・星宮小再編成準備委員会 第3回通学部会
開 催 日 時	令和2年2月18日（火） 開会：午後6時30分・閉会：午後7時30分
開 催 場 所	産業文化会館 第2会議室
出 席 者 （ 委 員 ） 氏 名	柿沼耕一、河野哲士、小島由佳里、長島寛、碓井進太郎、 大屋寿奈江、小山文男、棚澤薫、芙蓉良明
欠 席 者 （ 委 員 ） 氏 名	坂本邦孝
事 務 局	白井主幹、久積、岡野
会 議 内 容	1．バスの運行ルート 2．通学路
会 議 資 料	・資料1
そ の 他 必 要 事 項	傍聴者なし

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
事務局	開会
部会長	あいさつ
部会長	まず、事務局より説明をお願いします。
事務局	本日は、スクールバスの運行ルート案について、協議いただくが、説明に入る前に報告がある。1月16日に開催された、中央小学校・星宮小学校再編成準備委員会において、この通学部会の進捗状況を報告したところ、委員よりスクールバスの利用基準について、中里地区は分割することなくバス利用としてほしい旨の意見が出された。 ついては、スクールバスの利用基準について、再度協議いただければと思う。
部会長	では、前回の資料等を基に確認させていただく。現状、中里地区について、中里地区の中でもバスを利用できる区域とできない区域に分かれている。委員の意見はどうか。
A 委員	同じ地区でバス利用の有無が分かれてしまうのは、その地区の人は懸念される部分であると思う。再考できるのであれば、バス利用ができるのがよいと思う。それは、どの地区の人もそういう思いはあると思う。どこかで線は引く必要があると分かっているが、地区のことを考えると苦しいものがある。
B 委員	子ども会の集まりでもその子たちだけ別になっているというのは、かわいそうである。子ども会で集まった時や連絡事項等もあるので、地区で分けるとすれば、中里地区は中里地区というこ

	とで分けた方がよいと思う。
C 委員	沼尻地区の中学生は自転車通学という話が以前出ていたので、小学生は徒歩で学校に通うというのはちょっと無理があるように思う。
D 委員	中里地区は、全員がバス利用でよいのではないかと思います。
部会長	令和 4 年の時に実際バスに乗る児童だが、もう一つの資料でいうと中里集会所のあたりが今回検討する沼尻地区の周辺である。1 年生で 2 人入学しそうという話もある。皆さんの意見が一致しないとなかなか進められない部分もある。 E 委員はご意見等いかがか。
E 委員	同じ中里地区という意味では、バスに乗ることに周りからも御理解いただけるのではないかと思います。 ただ、バスのルートを見ると、中里地区の児童は、バスに乗るために学校とは反対方向の北へ向かって歩いて行って、バスに乗るという形になるのか。
事務局	開校時、各地区でバスに乗る際に何名程度になるか、前回の資料に記してある。バスの乗車定員もある。その地区で何名乗車するかによって運行ルートにも影響が出るため、地区ごとに何名乗車するかによって運行ルートを決めていく必要がある。
部会長	F 委員、ご意見等いかがか。
F 委員	前の地図でいうと、①－3 小敷田地区の方を回っていくようになるのかなと。乗車人数によってバスのコースが変わるのではと

	も思う。
各委員	(地図を確認しながら、協議)
D委員	沼尻地区の子は、小敷田地区の方へ行くより、中里地区のバス停留所へ行く方が安全かなとも思う。同じ地区だし、同じバスに乗れるのがベターだと思う。ただ、そこまで行く道路は車の交通量が多く歩道がない。
部会長	バス停までのルートに関することは、次回以降の検討でよろしいか。バス利用の基準についてまず決めないと、ルート等も決められないと思う。 G委員いかがか。
G委員	前回の地図で考えると、現中央小学校の最長通学距離を示す圏からは出ているのではと思う。一部基準の円に入っている部分もあるかもしれないが、バスを利用することに問題はないのではないかとと思われる。
事務局	前回、沼尻地区がなぜ徒歩になったかを考えると、中央・星宮小だけで考えた場合は問題ないと思うが、他の小学校に遠くから通っている子と比べた場合を鑑みて徒歩という考えになった。 例えば、遠い子で北小学校に通っている三谷郷地区の子は2.3キロ、西小学校の菅谷地区は2.4キロ、太田西小学校の若小玉地区は2.4キロとなっている。他の学校の子と比べた結果、徒歩となった。しかしながら、沼尻地区の児童は、忍中に通う場合は自転車通学になるため、地域の事情も踏まえて見直しを考えていく必要があると考えている。

G 委員	線引きをする上で、地図上の円より中は徒歩、円より外はバスという線引きにすれば、説得力のある区分だと思っていた。 しかしながら、自分の認識では、この地域はバスでもよいのではと思っていた。
事務局	前回の素案では、沼尻地区は徒歩でということになっていた。
G 委員	沼尻地区にもバスを通してあげて拾ってあげればいいのではと思う。停留所も 1 箇所増やす等すればそれで済む話ではないかと思う。
事務局	停留所については、この後バスルートのところでも説明させていただくが、道幅が狭い等の関係でバスが通れる道も限られてしまう。その点については、この後検討、協議いただきたい。
部会長	では、地図上の中央小学校最長通学距離の円を考慮し線引きをするということによろしいか。
各委員	(了承)
部会長	では、事務局に協議内容について説明をお願いします。
事務局	本日の資料は、資料 1 のスクールバス運行ルート(案)となる。 また、前回の会議録については、委員の皆様を確認いただき、訂正箇所があった場合、今週の金曜日までに教育総務課まで連絡いただきたい。連絡がなければ訂正なしとさせていただき、ホームページ等で公開させていただく。 それでは、協議いただくのは、スクールバス運行ルート(案)である。資料 1 をご覧いただきたい。バスの運行は①下池守・上池

守・小敷田、②中里の２ルートを予定している。それぞれのバス停について、改めて現地確認を行った事務局案となる。資料を１枚めくっていただき、①-1 下池守であるが、循環バスのバス停がおおよそ 2.5 m 幅の歩道に設置されていることから循環バスのバス停利用を考えた。①-2 上池守であるが、土地改良区の駐車スペースを考えた。この場所を利用するにあたっては、バスのＵターン等が出来ればという条件付きではある。Ｕターン等できない場合は循環バスの天満宮バス停を利用。こちらの歩道は少し狭いが、子供たちがバスを待つ場所としてグリーンホームの入り口も利用できるのではないかと思う。どちらの場所においても事前に土地所有者に了解を得る必要がある。１枚めくっていただき、①-3 小敷田であるが、中里の集落をマイクロバスが通過出来れば、小敷田農村センターを利用したいと考えた。循環バスの小敷田バス停付近には歩道がない。17 号バイパスの高架脇にスペースがあるものの、トンネルの出入り口は停留所として適していないのではないかと考えた。また、ルートが組みにくいという問題もある。

次に、①帰宅時のルートであるが、学校から近い小敷田方面から帰宅するとバス停はバスが停まる道路の反対となる。下池守のバス停では工場の駐車場をたまり場として利用可能であるが、道路の北側には歩道がないため、帰宅時が不安である。

上池守のバス停ではたまり場となる場所もなく、歩道もない。

これらのことから、帰宅のルートも行きと同様下池守からのルートが良いと考えた。ただデメリットとして、全体のバス乗車時間が長くなる。特に小敷田地区の児童バスの乗車時間が 15 分～20 分程度長くなると想定される。

参考までに所用時間の目安であるが、下池守からバスターミナルが約 20 分、帰りはバスターミナルから下池守、小敷田で 35 分程度となっている。

次に、②のルートの中里であるが、確認したところ、循環バス

	のバス停ではたまり場がないなどの理由から前回の会議で出された公民館が理想であると考える。 なお、こちらの所用時間は１０分程度となっている。 どちらのルートも日中に時間を計ったもので、朝は、もう少し時間がかかること、また乗車・降車時間が加わることとなる。 運行ルート（案）の説明は以上である。
部会長	運行ルート案について、ご協議いただきたい。
事務局	沼尻地区から小敷田地区へ回るとなると、２９名でマイクロバスに乗り切らない可能性がある。バス停について、乗降場所がこの案でよいかも含めて協議いただけたらと思う。
部会長	ルートの協議に入る前に、ここに示されているバス停４ヶ所について、これでよいかを協議したいと思う。 下池守地区のバス停が、この場所でよいかについて、対象地区在住のＡ委員、Ｅ委員どうか。
Ｅ委員	地元としては、児童生徒が地区内で分散しており、できれば下池の農村センターに入ってもらうか、地区の南側のところの住宅地あたりが元々の通学路である。バス停に向かうにあたり、学校と反対方向に向かってくる形になるため、心配もある。住宅地あたりで乗るか農村センターあたりがよいと思われる。ＰＴＡのアンケートが５月となっていたと記憶しているが、アンケート結果を待ってから決定でもよいのではと考えている。
Ａ委員	この案のバス停は、車の通りが多いためバスが停まって乗せるのは危ないと思われる。バスの大きさにもよるが、農村センターがよいと思う。また、先程話が出た南側の住宅街だと道が狭い。

	バスが来た場合に通勤の方の車とすれ違うと若干厳しいように思われる。ベストとは言わないが、農村センターがよいと思われる。 また、工場の駐車場もいいのではないかと思うが、工場の敷地なのか個人の敷地なのかがわからない。トラックの出入りもあるため、落ち着いて乗り降りするなら農村センターでよいのではと思われる。 あとは、お寺の駐車場も考えられる。ただ、砂利道で間口が狭くＵターンできるかの問題もある。 リトミックも考えられるが、朝はロープが張っており、入れない。
事務局	農村センターについては、事務局で確認させていただき今回のように示せるようにしたいと思う。
部会長	下池守のバス停については、要検討ということでよいか。
各委員	了承
部会長	続いて、上池守地区のグリーンホームの北側及び入り口あたりのバス停２ヶ所については、どうか。これについても、下池守地区在住のＡ委員、Ｅ委員どうか。
Ｅ委員	写真の①－２は農業センターのところか。農業センターならば、敷地内に入れるし、道路の端よりよいのではないかと思う。
部会長	それでは、グリーンホームの北側の農業センターとの間あたりでＵターンする形で南に向かっていくということでよいか。

E 委員	農業センターの駐車場で恐らく U ターンができると思う。
部会長	それでは、写真①－２の上池守部分のバス停はグリーンホームの北側ということでよいか。
各委員	了承
部会長	続いて、小敷田地区の写真①－３のバス停については、このあたりに路上駐車し乗降するということによいか。 ここ以外に場所はないように思われる。
D 委員	場所的には、ここが一番広いと思われる。ただ、子供たちが道路を渡る時に横断歩道が現行のバス停よりもかなり北にある。もっと、バス停付近に横断歩道をずらせればよいと思う。
部会長	では、小敷田地区については微調整が必要だが、バス停は原案通りということでよいか。
各委員	了承
部会長	最後に、中里地区は星宮公民館に集まるということだが、現に子供たちはそこを通過して通学している。これについても、原案通りでよいか。
各委員	了承
部会長	では、このような審議結果になったということで、一旦事務局に進行を戻させていただく。

事務局	沼尻地区の子をどの場所からバスに乗るのか、それによって運行ルートもどう組み替えるか等検討となる。 人数だけで考えると、開校時、上池守地区が6名なので上池守地区から中里地区を回る。下池守地区と小敷田地区と沼尻地区で1つのルートとすると人数的には問題ない。しかし、下池守地区から小敷田地区を回ると距離的に非効率になってしまうが、その辺のご意見はどうか。
各委員	地図を見ながら協議 ・皿尾農村センターはどうか。 ・皿尾地区にすると、皿尾の方は徒歩通学である。うまくないと思われる。 ・センターは使えないと思われる。等
事務局	事務局で先程の農村センターの件も含めて確認をさせていただき、検討いただくということによいか。 何かいい案等があれば、連絡いただければそれも含めて検討したい。
部会長	3月または4月の検討事項ということで、5月くらいにはアンケートを実施するタイムテーブルで、3月位には審議が必要になると思われる。
B委員	運行ルートにはなっていないが、ローソンの隣りにある砂利の駐車場はどうか。所有者が誰かわからないが。
事務局	車の交通量が多く、道を渡るのは大変である。歩道もない。 小学1年生ともなれば、渡らせるのは難しいと思う。 そこまで、保護者の送迎が必要になると思われる。

B 委員	保護者間でも話は必ず出るはずで、子ども会で話し合えば丸く収まるような気もする。
部会長	提案であるが、部会の進捗状況を学校で話させてもらってもよいか。こういう方向に進んでいる、ここが停留所で〇〇地区はここに集合となるという話が進んでいる等情報提供させてもらえれば、保護者等から意見として出てくる可能性もある。中央小学校の保護者にも理解いただく方向で審議していく必要がある。 停留所や運行ルートはとりあえずここまでということによいか。一旦、事務局に進行を戻させていただく。
事務局	運行ルートは、とりあえず方針を決めさせていただく。児童の分布によって変更もある。停留所も見直し、変更があるということを取り扱わせていただく。 次に、前回会議時の通学路における危険個所の確認をしたいと思う。 前回の部会の意見では、皿尾地区の児童が谷郷地区の児童と合流するには歩道がなく危険である。からくり時計がある城西交差点は危ない。喫茶店コロラドそばの踏切が狭くて危ない。郷土博物館そばの歩道橋を利用しているが、押しボタン信号を利用して横断できるようにできないか。忍中学校と中央小学校の間の道路をスクール道路にできないか等の意見があった。 なお、これらは、現在も中央小学校の通学路の注意箇所としていところが多いようである。 本日も通学路についてのご意見をいただき、通学部会の意見をまとめ、学校、市役所の関係課、また必要があれば警察等と調整していきたいと考えている。
部会長	では、星宮小学校区、中央小学校区で危険個所への要望があれ

	ばと思うがいかがか。 H 委員、中央小学校でも毎学期安全点検をされていると思うが、それも踏まえてご意見等いかがか。
H 委員	先程挙げた意見が、まったくその通りの内容である。一つ気になるのは、郷土博物館のところである。歩道橋があるが、手押し信号の方が近い。しかしながら、安全面から考えても歩道橋がそれほど遠いとは思わない。時計台のところは、ボランティアが毎朝立ってくれている。手押し信号のところは、現状児童は通っていないため誰も立っていない。もし、手押し信号のところを通るということになれば、ボランティアの方をお願いする必要があると考える。
F 委員	手押し信号の横断歩道を渡る場合、信号待ちも発生するが、歩道がなく狭いので危ない。信号待ちを考えると、歩道橋に行った方が無難と思われる。
H 委員	神社の中を通ってくる班もあるが、その子たちは歩道橋の方が近い。
部会長	中央小学校区で C 委員いかがか。
C 委員	先程の諏訪神社のところであるが、今中央小学校に通っている子は、不便を感じていないと思う。沼尻地区の子が一緒に通うとなると、距離的にも時間的にも長くなるため、手押し式信号を渡る方がよいのではという話だと思われる。沼尻地区の方がバスになれば今まで通りでもよいのではと思われる。
部会長	皿尾地区の子もその道を通る。

D 委員	皿尾地区の子が神社の中を通ってくるのかは現時点では分からないが、実際歩いてみたが神社の中は結構怖い。狭いけど中学生は通っている。ボランティアも増やす必要があるかもしれない。また、信号を渡った後、学校の正門まで歩いてみると7分くらいかかる。できれば、その道を朝だけでも一方通行にしてもらえれば安心ではある。地元の人には迷惑かもしれないが。
B 委員	郵便局のところから行った場合、正門に入る場合は、道路を渡るのか。
C 委員	郷土博物館のところに横断歩道がある。
H 委員	その横断歩道を渡ると、左側通行になってしまう問題もある。
F 委員	時間帯でスクールゾーンにしてもらえるとありがたいが。
部会長	他に意見等どうか。
F 委員	鴻巣市の方にもスクールゾーンがあるので、検討してもよいのではないか。
G 委員	今出ている案を詰めていく形でよいのではと思う。
部会長	次回、その辺を調べていただき、保護者の方等の情報収集をして、充実した会議になればと思う。
事務局	事務局としても、この後のアンケートの中で通学路の気になる点があるか等の項目を設けさせていただき、意見を収集しこの部会で協議していただければと思う。

B 委員	皿尾地区の子は、中央小学校までの歩くルートがまだ決まってい ないがアンケートができるのか。アンケートをもらってもどこ が危険かそもそも分からない。
事務局	アンケートを行うまでに、皿尾地区の方がどういうルートを通 るか考えておく必要がある。
部会長	次回、審議の時までに徒歩で通う子たちのルートを提案してい ただき、それを審議するという事でよいか。
事務局	こちらでも、ある程度示させていただく。
D 委員	中学生が現在通っているルートをメインで考え、小学生のルー トも検討できればと思う。近道というとたくさんあるが、子ども の安心安全を考えると抜け道のような所を通るのもどうかとい うところである。子ども目線で怖いところもある。中学生のルー トを補足するのはどうか。吾妻橋のところの踏切を渡る時に横断 歩道はない。踏切をうまく渡れば矢場地区まで行ける。
事務局	皿尾地区の子が通う通学路の案はある。しかしながら、中学生 の通学路と比較はしていない。南北道路をどこで渡るかが問題で ある。
B 委員	皿尾地区の人は、どのルートを通るといふのを示せば予測がつ く。
事務局	通学班はどこに集合するかによっても、経路は変わってくると 思う。

B 委員	恐らく南北道路の手押し信号を渡ってから通学班を編成することになりそうな気がする。
事務局	その辺は、事務局でも考えてみる。
部会長	最後、まとめさせていただく。
副部会長	今後は、より具体的な検討内容に入っていくので、知識等蓄えて次回に臨めたらと思う。よろしくお願いします。
事務局	次回は、３月１７日（火）６時３０分から２Ａ会議室で行う。 よろしくお願いします。 以上で第３回目の部会を終了したい。 閉会